

No. 127

43 4.5 発行

発 行 人

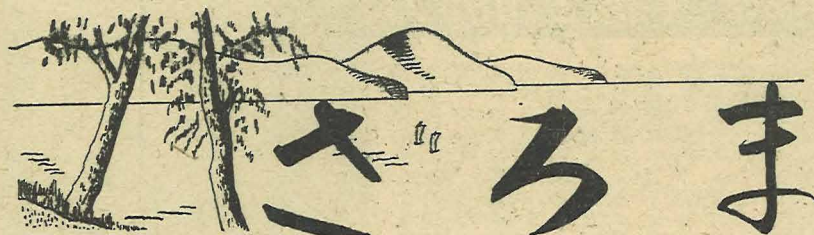
佐呂間町長 船木長一郎

編 集 人

総 務 課 広 報 係

印 刷

佐 呂 間 印 刷



僕も今日から

一年生

山肌の残雪もとけ、福寿 ました。

草のほころびる頃、また可 真新しいランドセル、上靴
愛い一年生が元気に入学し ぶくろ、胸に名前ときれいなハンカチを下げて喜々と
して校門をくぐる。お母さ
んたちもわが子の姿に、幼
ない頃を思い出すように、
ほくえみながらついて行く
事故のないように、おとな
が皆んなで気を付けてあげ
よう。

小学校前通りを行く一年生

人の動き

世帯数 2,736

人 口 11,748

男 5,856

女 5,892

3月31日住民登録人口

固定資産税

第一期は

4月25日までです

忘れずに納めましょう

4

定例第一回町議会

産業の基盤整備

住民生活の環境改善

町長 施政方針説明

43年度当初予算総額 4 億 2,099万円

昭和四十三年度予算の提案に当り、施政の方針について申し上げます。まずもつて御了解を願いたいことは、本年首長の改選期であり、従って、通年予算の編成或は町政運営に対する見解についても長期に亘るものについては差控えることが適当と思慮致しますが、改選期は八月下旬予定され、骨格予算は住民に不利を与え更に重点施策については、国道の開通も深く町の態度を明確にすることから、私の任期外に言及致しておりますことについて御了解をいただきたいと思ひます。町政の基本は、今更申し上げるまでもなく、首長以下執行の任に当るもの総てが主権在民の意識に徹することであり、このことを

基調として産業基盤の整備、住民生活の環境改善、教育の振興等に重点を配し、能率的、効果的に且つ経済的に推進し、もつて住民の信託に応えることを使命と心得、その実現に最善を尽す所存であります。以下予算との関連を含めて執行方針を申し上げます

農業の振興策については、土地基盤整備の促進、酪農経営の安定化に資する諸施策、農業協同組合の行う各般の事業に対する配慮、協同組合の合併促進等を重点とし生産性の向上と農家経済の充実に努力を続けたい。

土地基盤整備については、若里、富武土地区国営明渠事業の促進、大成、啓生、栃木地区の新規直轄調査の実施、仁倉、浜佐呂間地区の基礎調査、畑総地区の再検討、心土破砕事業の普及等とし、酪農経営については、草地造成の既設牧野の改良、草生試験、水資源の確保、集乳道路整備などに配慮し推進を図りたい。

林業については、団地造林の指定を促進し林種の転換を容易ならしめ優良林分の造成に務める外、業

界の不振による混乱防止の一助として金融措置の強化予算化致した次第であります。

水産については、構造改善の着実な実施、浜佐呂間漁港の拡張工業の着功、若里漁港の指定促進を含めた背面の整備、更に増養殖事業については、目下水産庁に於て継続調査中の大規模浅海養殖場調査の結果に基づき対策の検討を進める外、養殖事業の労務確保の根本的対策の推進を図りたい所存であります。

中小商工業については、その業態からも適切な施策が至難であり、差当り北洋相互銀行出張所の閉鎖に伴う若干の金融措置を致した次第です。更に若年従業員確保については可成深刻なものがあるので商工会を中心として対策を検討致したい。

総務関係に於ては、経済環境の変化に伴い特別雇の報酬の改訂及び一般雇、特別雇の旅費の改訂を提案致しておりますが、これ等は、管内各町村の実態をも調査を致しその中庸を採用せんとするものであります。

教育については、教育長より所信表明がなされるものと存じますが予算関係もあり施設等については申し上げますと校舎については、四十四年度以降の改修計画の樹立を始め学校給食の最終検討、不良教職員住宅の計画的改修、プールの新設、青少年対策を含めたスポーツセンターの構想樹立を重点と致

したい。

民生関係については、消防装備の充実、町営住宅地域の環境整備事業の着工町内統一の火葬場の新設促進、総合グラウンドの整備完了、児童遊園地の造成に務めたい。

道路整備については、住民の要請は量、質を強く求めており、今回未提案であります、ショベルドーザー及び六輪ダンプの入替によって能率の向上を図りたい。

橋梁整備については、予算化の外妙見橋については、道費補助を接渉中であります。

本年度より創設に係る自動車取得税交付金については、その動向を見極め道路、橋梁整備五ヶ年計画

を樹立し、産業振興と民生安定に務めたい。

以上申し述べた重点事項を含め一般会計予算総額は、参億五百九拾参萬圓で前年度実績に比し可成の減額予算であります、国費及び道費予算の決定に伴う地元負担、又、未計上の補助事業、融資事業を始め予想される給与改訂等の歳出に加え歳入面に於ても住民税の減税措置、景気抑制政策と交付税源の状況、酒、煙草の値上に伴う影響、更に人口の過密過疎に対する交付税配分の措置状況などを充分見極めた上、財政の健全化を基調として適切な運営に努力を致す決意であります。

学校教育、社会教育の充実強化

保健体育の振興

教育長 所信 表明

本年推進したい教育行政の基本的な執行方針を申し上げます。

民主的な文化的な郷土の建設も豊かな人間形成もその根源は教育の力にあると思ひます。

教育委員会は、教育の使命を深く認識し、意を新たにして努力をいたしたいと考えております。

学校教育の充実
・学力の向上を最大の目標として

教職員と共に、児童生徒の自から学ぶ学習態勢を確立する。
・教職員の自主的な教育研究活動を助長し、その資質と指導力の向上を図る。
・教育施設の整備と、教材教具を充実し、学習活動の向上を図る。
・教育の機会均等を図る。
・学校行事等経費の公費負担を行ない父兄の負担軽減につとめる

社会教育の強化

町民が自ら地域の問題を発見し解決する学習活動や、団体活動を助長するために学習の場の提供、指導助言に努める。就中、産業後継者の養成教育に特に配慮していきたいと思いますが、このことは町民各位の積極的協力と意欲がなければその実績をあげることが出来ませんので、関係団体は勿論、住民各位の一層の御協力をお願い致します。

・本町青年に対し後期中等教育の充実を図る。
・産業後継者の育成教育の充実を図り、町産業発展の基礎の助長につとめる。
・婦人学級の充実強化を図り、婦

人の資質の向上に努める。

・家庭教育学級的重要性にかんがみ、各地域に家庭教育学級を開設しよりよき家庭づくりに努力する

・公民館活動を積極的に進めると共に、町政にマッチした講習会・研修会、懇談会等を開設する。
・各種社会教育関係団体の育成強化を図り、その活動を充実させると共に指導者の育成を図る。

保健体育の振興

町民の健康増進は、衛生思想の普及と相俟ってスポーツによる体力の増進と、食生活の改善とが三位一体とすることにあります。これ等については年次的に逐次充実していきたいと考えております

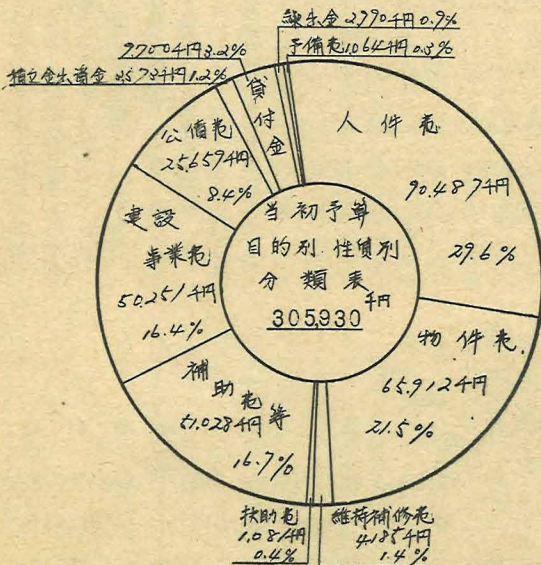
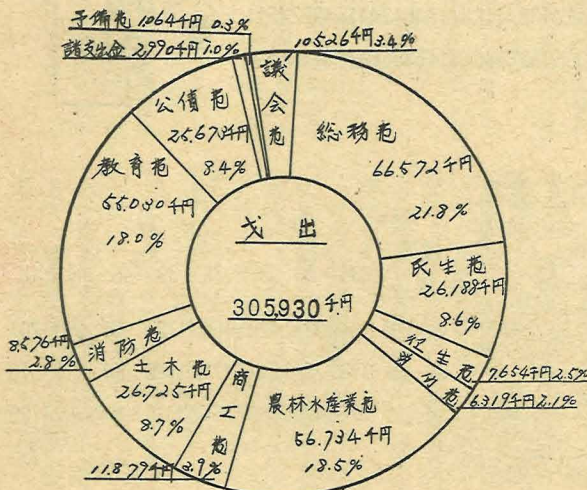
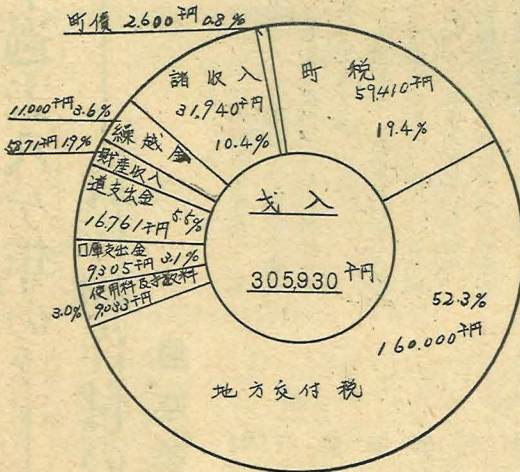
総合グラウンド建設事業として

第二次整備事業を実施し、スポーツ振興を通じ青少年の健全育成と明るい町づくりを推進する。

・学校給食による児童の体位の向上、体質改善をはかると共に、学校給食を通じて全町の食生活改善を図るため、住民並びに関係者の納得を得て、こゝ一、二年に実施できる様推進したい。

・スポーツ教室の開設、スポーツ少年の育成など町民の体力増進につとめる。

・人命尊重を基調とした安全教育の普及徹底をはかり、交通事故など災禍の防止につとめる。



会 計 別	当 初 予 算 額		割 合
	42年度 ④	43年度 ⑤	
一 般 会 計	305,930	274,686	111.4%
町 有 林 会 計	26,118	15,247	171.3
佐呂間 簡易水道 会計	7,166	6,364	112.6
浜佐呂間簡易水道会計	2,056	2,006	102.5
屠 場 会 計	3,484	3,368	103.4
国民健康保険会計	75,212	42,267	177.9
富士 簡易水道 会計	467	141	331.2
通学 自動車 会 計	560	335	167.2
	420,993	344,414	122.2%

過去八ヶ年の 農作物作付の動き

農業委員会

昭和三十五年から昭和四十二年までの八ヶ年間の作付動向を調査集計しましたので、その結果をお知らせします。

この期間中、農畜産物価格の推移、冷湿害の影響、或いは乳牛頭数の増加に伴う粗飼料の確保等、作物毎の作付面積は大きな変動を示しています。

このことは、集計前に当然予想されたことではありましたが、はっきり数字に現れて見ると町が推進している冷害なき農業の確立、そのための酪農振興が（また諸問題が累積するにしても）漸く軌道に乗り堅実な歩みを続けていることが良く了解出来ます。

然し、これを作物毎に見た場合
① 水田は年々増反されているが商品生産農家の増加とは必ずしも結びついていないこと、これは自家用米生産農家が一向に減少せず寧ろ増加の傾向にあること。
この傾向は四十二年の水稲豊作により尚一層拍車をかけられるものと予測できます。

作物名 年度 地域	水				稲			
	35	36	37	38	39	40	41	42
佐呂間	2197	2250	2198	2367	2325	2356	2414	2297
若 佐	4042	4102	4142	4147	4043	4118	4322	4511
合 計	6239	6352	6240	6514	6368	6474	6736	6808

又、畑作にあっても数多くの問題点を残しています。

③ 燕麦は馬の減少、牛の増加に係なく五〇〇ha前後作付されており、今後其輪作形式の中に織り込まれる作物としての性格がその面積に反映されています。

② 小麦、大麦、裸麦を通じ寒冷年に強い反面、成熟期の雨害に連年いためつけられたこと、また生産性が低く価格が低迷していることもあり面積は半減しています。

④ 馬鈴薯は安全作物の一つですが澱粉原料とした場合の収益性が低いこと、収穫期の労力過重等により、三四年間haをピークとして減少傾向を辿っていますが、四十二年の場合種子用八、五割食用十三割澱粉原料七八、五割となっています。

作物名 年度 地域	秋				小				麦			
	35	36	37	38	39	40	41	42	35	36	37	38
佐呂間	1969	2237	2293	1850	1720	997	690	707	1969	2237	2293	1850
若 佐	1797	2058	2114	1712	1795	1087	1219	1018	1797	2058	2114	1712
合 計	3766	4295	4407	3562	3515	2084	1909	1725	3766	4295	4407	3562

作物名 年度 地域	馬				鈴				薯			
	35	36	37	38	39	40	41	42	35	36	37	38
佐呂間	1915	2730	2526	2556	2864	2901	1790	1536	1915	2730	2526	2556
若 佐	1157	1535	1281	1107	1177	1281	927	1005	1157	1535	1281	1107
合 計	3072	4265	3807	3663	4041	4182	2717	2541	3072	4265	3807	3663

⑤ とうもろこしを主体とする雑穀は、その土地を飼料作物の作付け転換したこともあって一〇haが三haと四十八%に減少しています。
⑥ 豆類では大豆、豌豆が冷害の影響で毎年大巾な後退を続け、大豆四四haが元haと六%に、豌豆一haから三ha（%）へと激減しました

作物名 年度 地域	大				豆			
	35	36	37	38	39	40	41	42
佐呂間	2459	1741	1596	1064	928	476	224	168
若 佐	1985	1505	1257	1081	846	543	225	120
合 計	4444	3246	2853	2145	1774	1019	449	288

⑦ 菜豆は割合価格が良く高級物を中心として今後も成りの面積を維持するでしょうが総体的には三四haが一〇ha六%と減少傾向です。

⑧ 小豆は、豆類が軒並みに減少している中で毎年大きな変動を示し乍らも、一発当れば大きな収益を得られるためか、豆類の中では近年最高の作付面積になっています。

⑨ はっかは、昭和四十年、五三haにまで減少し、往年のはっか王国の面影もなくなったが、品種改良による増産が期待されだしたので再び二〇〇haを超えるようになった。価格次第では俾の飼料としての利用とも併せまだ増加するでしょう。

作物名 年度 地域	小				豆			
	35	36	37	38	39	40	41	42
佐呂間	781	1289	1168	879	1216	882	1709	823
若 佐	851	1101	932	918	1212	995	1849	1167
合 計	1632	2390	2100	1797	2428	1877	3558	1990

作物名 年度 地域	は				っ				か			
	35	36	37	38	39	40	41	42	35	36	37	38
佐呂間	815	1461	1187	793	574	214	254	907	815	1461	1187	793
若 佐	1057	1558	1308	747	708	316	511	1345	1057	1558	1308	747
合 計	1872	3019	2495	1540	1282	530	765	2252	1872	3019	2495	1540

⑩ ビートは、昭和四十年の八二七haを頂点として作付減少の傾向にあります。耐冷作物であり又、茎葉が家畜飼料に利用でき、価格も安定しているにもかかわらず、このような現象を生じていることは色々原因があるでしょうが、個々の経営の中で最も肥沃な土地に作付する。連作すると収量が激減する、直播では間引きの労力、移植では育苗技術面の苦勞と労力、収穫時労力の過重等経営面積に大きくとり入れられない要素が重なっているものと思はれます。

作物名 年度 地域	ビート								
	35	36	37	38	39	40	41	42	
佐呂間	反	2862	2764	3485	3857	4268	4750	4232	4327
若 佐		2236	2042	2447	2676	3068	3519	3172	2709
合 計		5098	4806	5932	6533	7336	8269	7404	7036

⑪ その他の特用作物では、あまの作付廃止以来、それに替る作物がなく殆んど飼料作物に転換して現在シソを主体にニンニク、仙きゅう、しゃくやく、百合等漢方薬の原料となる薬草が地域の特産物にもなり得ないで残っている程度です。

作物名		そ の 他 特 用 作 物							
年度		35	36	37	38	39	40	41	42
地域		35	36	37	38	39	40	41	42
	反								
佐呂間		1668	1465	1570	1523	1110	745	323	484
若 佐		815	754	850	1091	552	101	23	60
合 計		2483	2219	2420	2614	1662	846	346	544

⑫ デントコーンは、年々大巾に増加していますが飼料価値の上からみて、乳牛の飼料の主体は牧草であり今後共増加率は年率一〇％内外でしょう。

作物名 年度 地域	デ ン ト コ ー ン								
	35	36	37	38	39	40	41	42	
佐呂間	反	1970	2086	2123	2664	2973	3372	3464	3826
若 佐		1315	1332	1300	1497	1578	1815	1785	2057
合 計		3285	3418	3423	4161	4551	5187	5249	5883

⑬ 牧草は、作付面積全体の三七、五％を占める程急激に年々増加

して畜産haから一四八haと二五〇％の作付となつてゐるが、乳牛の増加率には及ばない。(乳牛三年一九四四年三頭約二〇％) このことは反当収量の増加もあるが、飼料物総体の作付から考え粗飼料自給生産の脆弱性と町有牧野えの依存度が高いことを示すものであつて、目標とする八、五〇〇頭飼育えの道は相当に峻しいものであることを認識しなければなりません。

作物名 年度 地域	牧 草 根 菜								
	35	36	37	38	39	40	41	42	
佐呂間	反	2959	3564	3557	4509	4899	5965	6644	8545
若 佐		2685	2901	2641	3061	3410	3759	4086	5537
合 計		5644	6465	6198	7570	8309	9724	10730	14082

⑭ 以上全体面積では五二八一haから五二五六haと〇・五％、二五ha減になっていますが、草地造成で増加した面積を上廻る農地から宅地、山林への転換および廃耕があるものと思はれ今後の農政上の課題でありましょう。

ここに掲げた数字は町産業課に

提出された毎年の作付実態調査からの集計であります。申告浅れ或いは一部作爲的ともみられる反別の減少もあつたりして、町全体の面積では統計上の数字とは相違しています。然し只単に作付の動向を知り、かつ、今後の傾向を窺知する資料としては十分役立つものと思はれますので発表する次第です。

確定申告が

まちがつていたら

北見税務署

◎修正申告、期限後申告をしなかつたときは

更正・決定

四、五月はヤマベはとれません

春と共にまた釣のシーズンがやって来しました。毎年のことですがヤマベの禁漁期間が今年も決められておりまして、四、五月いっぱいはいはれない事になっております。釣を愛好される方、御理解と協力をお願い致します。

冷害に負けない経営を



冷害備林を造成しよう

さあ！これから実際へ

農業学園第二期生卒業式



「螢の光」を合唱して式を締めました。

式後講師を囲んでの謝恩会では、積る苦労話にそれ／＼花が咲きました。

今年も男女二十五名の優秀な後継者が出ましたが、ますますの健闘を期待します。

春雨でけむる学園舎から「螢の光」が聞こえて来ます。

今日（二十一日）は佐呂間農業学園の第二期生の卒業式です。

開設されてから四年、漸く環境諸設備も整い、名実ともに近代農業後継者育成の学びやとしての伝統を型成しつつあります。

午前十時、父兄、関係者の参列を得て行なわれた卒業式に、学園長からひとりひとりに卒業証書が手渡されました。続いて来賓の祝辞、在校生代表雪藤子さんの送辞、卒業生代表渡部一栄君の答辞が力強くのべられ「仰げば尊し」



学園長より卒業証書を受ける第二期生



圧倒的な 道路 牧野

教育関係の要望

十八地区 延七〇〇余名

「広く地域住民の声を聞き町政に反映させる」 新年度予算を控えて行なった「町政懇談会」は十八地区延七〇〇余名を集めました。要望事項としては各部落とも、道路河川の整備、酪農牧野の問題、教育面では校舎の増改築、給食問題等が圧倒的に多く、各地区とも集りは好調で町政への関心がうかがわれました。亦町政面について町長と直接話をして結論を求めるというところにも大きな意義があったと思います。

回答については即決出来たものもありましたが、多くは予算が伴うもの、亦道や国の関係等もあり後日整理して各自治会長さんへ通知することになっております。

学校教員の宿直、日直が

なくなりました

父兄の皆さんのご協力を

町内の小中学校教員の宿直と日直勤務が、近々なくなりますので、これからの学校運営と管理について、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお次の事柄について十分な認識と御支援を望みます。

1、常勤使丁の置いてない学校は教員の正規の勤務時間以外は誰もいません。

2、勤務者のいない学校の土曜日の午後、日曜日、祝祭日等は学

校の使用は極力制限されます。万一止むを得ない理由によって使用するときは、学校長（不在又は病欠のときは教頭）の許可を受けてから使用して下さい。

3、学校への連絡、通知、照会等も出来るだけ勤務時間内に、済ませるようにして下さい。勤務時間外は校長住宅に出向き又は校長住宅に電話連絡して下さい

4、学校への出入り及び施設（校舎、屋内運動場、グラウンド等）

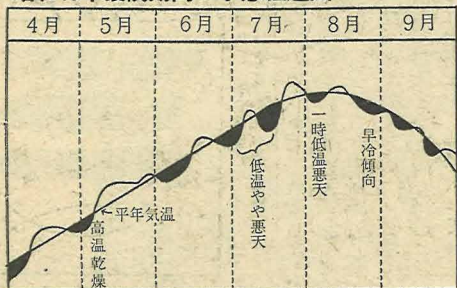
設備（内部の備付と備品一切）の使用は学校長の許可を受けてからにして下さい。

5、児童生徒の登下校時間は、学校の定める時間を守って下さい（朝は余り早くなく、下校も日課時間終了とともに帰宅することになります）

6、町並びに教育委員会では、学校の無人化に伴う防災設備について、出来るだけの措置を講じますし又校長、教頭（学校に於ける管理職）もその対策を十分考慮して父兄の皆さんに御迷惑のかけないよう、努めることになっていきます。

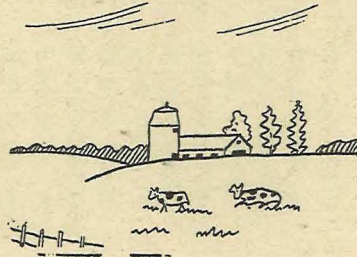
7、その他不明な点や照会があれば地元小学校長又は教育委員会に問合せ下さい。

昭和43年暖候期間の予想経過図



昭和43年の営農技術対策は
今年の暖候期の気温の予想経過図
が次の通り発表(三月十日)にな
りました。今後は毎月発表になる
一ヶ月予報及三ヶ月予報を充分留
意して下さい。尚、くわしいこと
については懇談会の折配布した営
農資料にけい載されておりますの
で参考にして下さい。

普及所だより



- 1 水 稲
本年の盛夏は昨年ほどの好天持統
が期待できず、さらに秋冷も早く
強まることが予報されているので
本年の稲作は次の点に充分注意し
て下さい。
① 植付期における収量目標は共
済組合の基準収量にとどめる。
② 品種の選択は中性種以上耐冷
性の品種とする。
③ 活着と分けつを良くするため
に健苗の育成を行う。尚育苗期間
が高温に経過することが予想され
るのでビニールハウス育苗の方は
温度管理に充分注意する。
④ 栽植は疎植とならないよう三
、三㎡当八〇〜九〇株につとめる
⑤ 施肥量は基準を守りチッソ質
肥料の多施はさける。
⑥ 7月の低温予想に対して深水
かんがいが何時でも出来るよう高
畦を作っておくこと。
⑦ 秋は早冷の傾向があるので生
育期間を考えて作業を進めて下
さい。
- 2 麦 類
最近地力の減耗がいちじるしくな
っております。地力維持のため麦
類の作付割合は二〇%を確保しま
しょう。
- 3 豆 類
やや不順含みの気象が予想されて
いることから豆類栽培の基本原則
「輪作・地力の増進、適品種、適
種類」を守り無理な作付はさける
種子は無病のものを必ず選ぶこと
4 馬鈴薯

ウィルス病の罹病種子は今年こそ
更新して増収を計る 夏季などの
多雨にそなえ、湿害を受けぬよう
予め排水を良くする。疫病の防除
に当っても充分注意をして下さい
5 てん菜
紙筒移植を行って増収を計りまし
よう。ハウス育苗には温度の管理
が大切です。特に高温は悪い影響
をあたえます。本畑の地力は大丈
夫でしょうか。てん菜の生育は土
が良くないといけません。堆肥(有
機物)を沢山入れて土壌の物理
性を良くすることです。土の中
の空気を多くしましょう。高畦栽
培も効果が上ります(湿地では)
☆ 増収のかけに努力の
堆きゆう肥 ☆
道では自給肥料増産共効会を昭和
41年度より実施致しております
多数の方の出品を待っております
尚41年度は佐呂間町共立新生4H
クラブが網走支庁長賞「銀賞」を
受与 42年度は共立才四農事組合
が北海道知事賞「銀賞」の表彰を
受けました。
今年の各作物栽培技術に当って
は営農懇談会の折配布しました営
農資料(43年度)を参考にして下
さい。

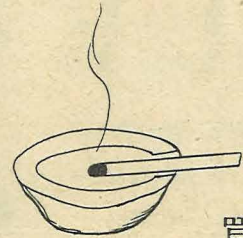
畜 産

「草地管理」四月に入ると雪解け
も早いが一日も早く融すように努
めること。又余剰水は充分排水す
る様に暗渠の設置を計り地温上昇
に努めるようにしよう。

たばこは町内で

買いましょう

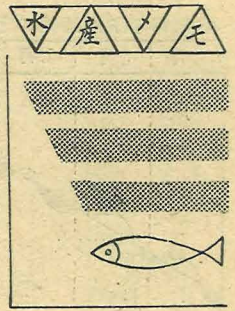
成人一人一日十四本



去年一年間に町内で消費された
煙草は、本数で一、九七二万一、
六六〇本で、町に入る税額とし
て一、〇二七万四二一〇円とい
う大きな額になります。

草地への追肥は融雪水のある四
月中旬頃迄に施用することが極め
て大切です。施肥の場合特に磷酸
分は早い程効果が高く全量春先に
施す様にします。一春先の追肥量
は硫酸一五Kg 過石四〇Kg、塩加
九Kg位は施すこと。尚牛尿は四
〇〇〜六〇〇ℓを施し芽が出て乾
燥している時は三〜四倍に希釈す
る様にしよう。化成肥料の時は一
袋〜二袋は施して下さい。更に
に年数の経た草地で秋に石灰の入
らなかつたところは春先に一五〇
Kg位散布してやろう。
今年新しく牧草を播く場合は湿度
の高い四月末旬から五月上旬頃に
播種すると発芽がよいようです。
その他デントコーン及び家畜ビー
トの種子の準備もして下さい。

「乳牛管理」三〜四月頃にかけて
シラミのわいている牛が多く見ら
れますので、特に背中をなめる様
な牛は注意が必要です。若しその
様な牛の時は被毛の手入れをよく
し背筋にDDTを散布すること。
又爪が伸びすぎていて牛が多いの
で今月中に削蹄を終る様にして下
さい。又日光欲や運動も欠さず行
って下さい。運動などは自由に
出来るように牛舎附近に牧柵を造り
繋運動から解放してやり出来るだ
け手間のかけない様にすること。
又飼料が不足気味のところは不足
分は濃厚飼料等で補い、カビのあ
るもの腐敗物は給与しないこと。



エゾムラサキイガいの駆除

養殖している垂下連に附着したイガいの稚貝を駆除する方法としては、(イ) 空中にさらす方法 (ロ) 炭水に浸漬して殺す方法 (ハ) 湯湯に浸漬して駆除する方法、があり最近では水圧ポンプ等によって除去する方法がある。いづれにしても作業方法は簡単であって養殖物又は容器等を損傷せず又その後には悪い影響を残さない方法が必要である。

(ロ) 淡水処理法

ある。
イ) 空中露出法
これは一般に行われている方法であるが、イガいは体温上昇に対する抵抗性が弱く30度位に体温が上ると斃死する。したがって空中直射日光下でのさらす時間は時期天候等によって各々異なるが真夏の快晴の日では2〜3時間の露出で充分であるが曇り湿度の多い日は8〜9時間も要する。天候は時々刻々変化するため露出時間判定は大体の目安として殻表面が白く乾燥して強く息を吹きかけるとゴミがとぶような程度が適当である。又裏返しにして日光にさらすことが処理を早めることにもなる訳である。

この方法は淡水に浸漬して駆除するもので川水を利用すると便利である。水温が15〜20度の場合には約50時間、20〜25度では約30時間浸漬するとイガいや稚藻等の附着生物を駆除することが出来るが近くに適当な河川のないところでは止水で処理しても良いが附着生物が死んで硫化水素等の有毒物質が発生するので使用後の水処理が必要である。

ハ) 湯湯処理法

50度〜60度の湯湯にイガイ等を浸漬して駆除する方法である。イガイの大きさに処理時間が異なる。駆除はできるだけ稚貝の小さい内に行つたほうがよい。大きさが2mm内外で55度〜60度の湯湯に10〜15秒、4〜5mmでは30秒、1cm以内では60秒浸漬時間を要する。実際に60秒浸漬時間を要する。煮釜等を利用して実施するのがよい。

いづれの方法にしても入替作業の過程に於てイガイ稚貝の小さい内に処理すると単時間で資材を有効に使用出来る訳である。又現在養殖事業に使用されている材質は合成繊維で化学的にはポリオレフィン系ポリエチレン(商品名ハイゼックス、カネライト、プラチロン)等であるため長時間の対光性が弱い。附着生物駆除に用いる処理時間は短時間で処理することが資材の対応年数を長くすることにもなる訳である。

(水産改良普及員)

教員人事

◎転出

浅野信吉 滝の上小(佐 小)
小松慎之 藻琴小(佐 小)
麻植郁子 中湧別小(佐 小)
米川志ん 苫小牧美園小(佐小)
磯江久男 鱒浦小(仁倉小)
印南幸男 美幌小(富小)
前川規夫 支湧別小(若佐小)
長谷川恒子 札幌市厚別中(若小)
小林 茂 美幌小(若佐小)
佐々木雅風 京極更進小(若里小)
高橋 哲 社名淵中(佐 中)
辻本 博 緋牛内中(幌岩中)
徳武隆男 津別中(〃)

◎転入

平野 玄 佐小
鈴木直子 佐小
長尾涼子 佐小
小杉田好弘 富小
野村精一 小(境野小)
青柳武子 若小
上野豊司 若小
国安民雄 若中
犬関博彦 若中
佐々木健 若中
小栗 実 若中

松下幸治 湧別中(若佐中)
南部二三一 沙見中(〃)
佐藤郁雄 津別中(〃)
丸田 実 滝の上白鳥小中
(浜佐呂間中)

◎退職

笠木義一 (知来小)
大西重利 (若里小)
黒河政夫 (若佐小)
棚橋達雄 (栄小)
石河 勇 (佐中)
竹端 勇明 (佐高)
河原徳雄 知来小
豊村 光 若里小
四栗 勇 若佐小
川村新次郎 栄小
齊藤敏夫 佐中

人 事

四月一日付
保健婦を命ずる

上原都子
浜谷光子
林 登和子
井上 真理子
鴨井 益子
高瀬 栄子

香川徳衛 佐高
(興部町沙留中)
(上砂川高)

浜佐呂間保育所
運営委員 母の会
役員決る

浜佐呂間保育所の開園は十五日からですが、去年まで若妻会で運営しておりましたが、今年から新たに母の会でその任に当ることになり、次の役員の方が選任されました。

役員

園長 増子正長
会長 杉谷紀穂
副会長 大槻美津子
書記 石田節子
書記 高橋栄子
荒谷アサ子
須藤順子
藤原綾子
会計 会 計

町条例改正で国保
税の納期変る

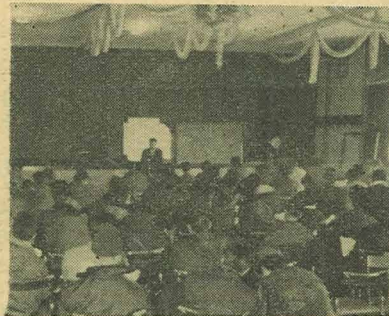
第一期 七月二十五日
第二期 九月二十五日
第三期 十一月二十五日
第四期 十二月二十日

◎部長

佐々木福蔵 厚岸町
香川 正一 中湧別

三月三十一日付
願により本取を免する
主事補 永野 二美子

(根本技師の話を書く酪農家)



乳牛五七〇〇頭 これは現在の佐呂間町の頭数ですが、昭和三十三年に一五〇〇頭祭をしてから過去十年で約四倍になるうとしており、四六年までに更に八五〇〇頭という数字も出ております。

これに伴って乳牛の育成改良も関係機関の指導で着実に進められてはおりますが、まだまだの感もあり、町ではこれらの問題点を緩和して更に酪農の近代化を促進す



乳牛の改良育成は— 飼養管理講習会 町と両農協共催で

るため、両農協共催で酪農講習会を開催しました。

講師は農林省新冠種畜牧場、根本農林技官、北聯訓子府牧野、小川種畜課長で、四時間にわたる講習に、会場には大勢の酪農家の方が集まり、熱心にメモをとって聞かいていました。

今後はこの内容を実際に活用して、よりよい酪農経営をしよう。

大きな夢と希望を もって社会へ

中学 110名 高校 86名

就職者激励大会

今年もまた、中学校、高校の卒業生が社会人一年生として元気に



集立って行きました。

町内で今年の中学卒業生は三八名おりますが、この中、進学二〇六名、就職一一〇名(未定二)となり内訳は、道外一六名、道内五〇名、町内四四名で町内の場合農業二名、漁業三名、その他一九名となっております。亦高校卒業生は全日制、定時制で一七八名おり、その中、現在まで解つたものは、進学六〇名(決定一九名)就職一一二名(既就職二六名)その他六名となっております。

先日中学校卒業生の就職激励大会が公民館で開かれましたが、約一〇〇名の方が集まり町長並びに関係者から激励の祝辞を受け、映画鑑賞など楽しいひとときを過ごし決意も新たに、大きな希望を胸に秘めて三時過ぎ帰途につきました

林業メモ

◎造林地の手入れ

昨年秋季に植えた木は冬の凍上により根が浮いているので、雪解けと同時に根を固めることは春先の乾燥を防ぎ、活着を良くするので忘れてはならない大切なことです。

また、昨年は野ネズミが大発生しているので薬剤の散布及び防鼠溝の補修を行うよう心掛けて下さい。

◎造林地指

天然林の伐採跡地又は原野、未

融雪災害を

皆んなで防ごう

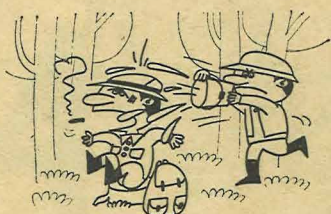
春の訪れと共に、気温が急激に上昇して融雪による災害も予想されますので、次のことがらに充分配慮して下さい。

融雪により「なだれ」の恐れのある場所。

河川の増水によって氾濫の危険のある場所。

もし災害発生の恐れがあると予想されるときは、役場庶務係(防災)まで御連絡下さい。

山火事から緑の山を守ろう



開墾、造林の火入れやタバコ、タキビには細心の注意を

立木地等に木を植える場合は地拵えが必要です。

その地拵えの方法は植栽される樹種及び立地条件によって異なりますが、カラマツを植える場合は全刈焼地拵えが適当です。

地拵えの良否によつては植付け及び下刈りの功程に影響があります。丁寧な地拵え丁寧な植付け、そして保育を完全に行えば立派な人工林の育成は間違いないあります。

また火入れを行う場合は市町村長に届出し、許可を受けると共に気象情報及び火入許可書の記載条件等を充分考慮し、他の山林に迷惑をかけるないようにしましょう。

(網走地区林業指導事務所)

自主納税に協力

致（し）ま（し）し（よ）う

町税の納入については日頃より格別な御協力をいただき感謝申し上げます。本年も皆様方のお手許におあげ致しました納税通知書の通り納入していただく事になりました。

御承知の通り納税は皆様が進んで納期限迄に収入役の窓口へ納めていただく事が納税の正しい姿であります。納期内の自主納税により徴税費の節減を図り町行政の円滑を期する様皆様方の御協力をお願い致します。

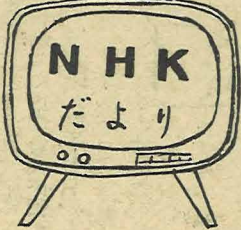
◎納税貯蓄組合に加入しよう
現在町には一〇七の納税組合があり、千六百余戸の方々が加入しております。組合に加入しますと納期毎に組合長さんが集金に参りますので納税の手数が省けますし又納付した税額の500が納税奨励金として組合に還付されます。加入については近くの納税貯蓄組合長さんに相談して下さいれば簡単に加入する事が出来ます。

◎前納報奨金制度があります。
一年間の税額を前納致しますと条例により報奨金がもらえます。額は前納額の100に前納月数を乗じた額となっております。

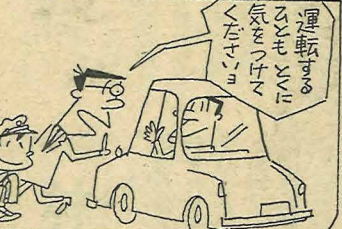
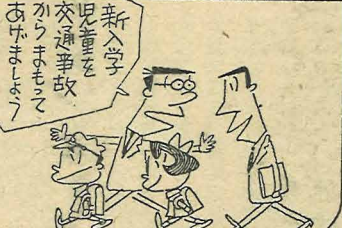
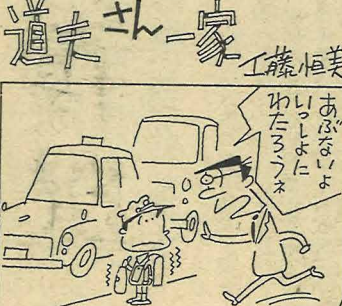
例えば固定資産税の年間の課税額が四、〇〇〇円（各期別一、〇〇〇円）でそれを四月の一期に四期迄

納入したとすると

2期が1,000円×1/100×4ヶ月＝40円
3期が1,000円×1/100×5ヶ月＝50円
4期が1,000円×1/100×3ヶ月＝30円
となり前納報奨金は一八〇円となります（但し前納報奨金は町道民税、固定資産税に限りません）



NHKラジオの周波数が変わります。四月一日からNHK網走ラジオ



「春 近 し」

春陽背に庭木の手入れに余念なし
大望を角帽に秘め入学す
農縁者春の佳き日の披露宴
春曉に十五夜の月残りけり
祖の系譜めきつつ裸木の樹脂匂う
傷心の耐えん確かな裸木の尖
矢傷受け耐えし日月風の春
春近き影放課後は更にさみし
春待たで逝きし父の碑へ彼岸花
八人を蹴で一浪春を呼び
野菜むろより出せば春の香
春泥の今日転動の辞令くる
雪融けや深夜を流す水の音
淋しげに思い出深くふきのとう

オの周波数が変更され、第一放送が一一九〇KC（現在は一一五〇KC）で、第二放送は七〇〇KC（現在は一三七〇KC）になります

病氣全快祝として



- | | | | | | | |
|------|-------|-----|------|------|------|--------|
| 太田喜堂 | 橋本そよ風 | 鈴木孔 | 鈴木房子 | 矢口斗洋 | 徳式斗柳 | 若里井上民子 |
|------|-------|-----|------|------|------|--------|

浜さろま保育園へ 五千元也

浜さろま 高橋サヨ

香典返しを廃して 社会福祉協議会へ 五千元也

若佐 矢口豊一

香典返しを廃して 社会福祉協議会へ 壱万円也

仁倉 大門和光

出産祝を廃して 社会福祉協議会へ 二千元也

さろま 山本芳雄

佐呂間老人クラブへ 壱万円也

さろま 山口光友

出産祝を廃して 社会福祉協議会へ 二千元

西富 有光乙二

亡母追善供養 社会福祉協議会へ 壱万円也

若佐 中道宗範

編集室

皆さんの建設的な御意見の投稿を歓迎します。どんな小さなことでもよろしいです。締切りは毎月二十五日です。